

市長記者会見

感染対策期移行による注意喚起、ワクチン接種の対象年齢拡大

報道関係の皆さまには、午前中に引き続き、ご参集いただき、心から感謝申し上げます。

午前中には、東京 2020 パラリンピック聖火フェスティバルが開催をされました。長く障がい者団体の皆さまと活動を共にし、絆を深めてきた私にとりましては、大変感慨深い一時でありました。私どもが送り出す 2 人の選手、アスリートですが、お一人が永野美穂選手。アーチェリー競技コンパウンドに出場予定です。彼女は 9 年前のロンドンでも入賞されました。職場を変えて、大変厳しい環境を乗り越えて、再び世界という場で戦うわけでございます。一方で、山口尚秀選手。競泳種目において、金メダルそして世界記録を市民の皆さまと共に待ち望んでいます。ぜひ、報道機関の皆さまにおかれましては、今治市内が沸き上がるような報道を、そして私どもの思いが 2 人のアスリートに届くような報道を心から願います。

さて、本日は、県の感染警戒レベル引き上げを受けた市民の皆さまへのお願い、そして、ワクチン接種の対象年齢拡大、この 2 点についてお伝えをさせていただきます。本市の情報発信にご協力いただきますよう、改めて願います。

《愛媛県の感染警戒レベルの引き上げについて》

まず、愛媛県の感染警戒レベルの引き上げに伴う市民の皆さまへの注意喚起についてです。

昨日の中村知事の記者会見で、県内の感染状況について説明がありました。既に市民の皆さまもご存じだと思います。8月10日には、県内過去最多を大幅に更新する85名の陽性者が確認されるなど、県内の感染が急激に拡大しています。県内の感染がもう既に第5波に突入した状況です。昨日8月11日(水)から当面の間、県独自の警戒レベルが「感染対策期」に引き上げられ、最大級の警戒と、今まで以上の徹底した感染回避行動が求められています。

今治市においても8月1日以降、昨日までに28名の陽性者が確認されております。内訳は新規事例で14名、既存事例14名です。この数値を市中感染と読み解くのか、それとも水面下で広がっていると読み解くのか、これはなかなか難しいところがあります。ぜひ、市民の皆さまには次の4点について、遵守のお願いをします。

これまでの間、私には様々な情報が寄せられています。市長メールもあります。一方で個人のSNSを使って、私に声を届けてくれる市民の皆さまもおられます。先日こうしたメールが届きました。他市で大規模なイベントに参加をした。とても楽しかった。でも数日経った時に自分が陽性だということがわかったというメールでした。また、昨年にはこういったメールもいただきました。おじいちゃんやおばあちゃんにどうしても会いたくて、帰省をさせていただいた。楽しかった。家族と会食ができて楽しかった。でも、もともとの場所に戻った時に自分が陽性であるということに気づいた。家族のみんなに、そして地域の皆さまに大変なご迷惑をおかけしたというメールでした。

1 県外からの帰省は延期・中止

まず1点目、県外からの帰省は、延期または中止をお願いします。これまでも県外からの帰省など、県外由来の感染事例が市内においても複数確認されておりますので、お互いを守るためです。今回はぜひとも帰省の延期や中止をお互いに呼び掛けをしていただくようお願いいたします。

2 不要不急の県外往来は自粛

2点目、不要不急の県外との往来は自粛をお願いします。

既に30都道府県がステージ4です。爆発的な感染拡大の状況にあります。10県がステージ3、感染が急増している状況を示しています。このように全国的に感染が拡大している状況を踏まえ、県外との往来は非常に感染リスクの高い行動となりますので、可能な限りお控えいただきますようお願いいたします。

3 松山市等との不要不急の往来は自粛

3点目、松山市との不要不急の往来は自粛をお願いします。

他市である松山のことを今治市長があれこれ言うつもりはございませんが、8月に入り急激に、急速に、感染が拡大している情報が耳に入っております。既にステージ4の状態にあり、市中感染がまん延をしているとの認識です。帰省なども含め、松山市との不要不急の往来はぜひ自粛していただくようお願いいたします。

加えて、お隣の西条市や新居浜市でも同様に感染が広がっております。松山市と同様に不要不急の往来の自粛をしていただくとともに、今治市内

においても不要不急の外出や人との接触をできるだけ減らしていただく行動を取っていただくようお願いいたします。

4 会食ルールについて

4点目は、会食のルールについてです。

会食は、「普段から顔を合わせている方」と「4人以下」「時間は概ね2時間以内」とし、「感染対策が徹底されているお店」のご利用をお願いいたします。

《飲食店へのお願いについて》

県内でも、松山市など感染拡大地域の飲食店に対しては、飲食店への営業時間短縮要請が予定されていると聞いております。今治市においては現在の感染状況などから、今のところ時短要請の対象にはなっておりません。ただし、万全の備えをお願いする意味で、8月10日(火)から夕方、市内の飲食店への訪問し、感染防止対策の徹底を要請させていただいております。また、その際、今後の感染を未然に防ぐため、県の「愛顔の安心飲食店認証制度」への申請、及び本市独自の「飲食店新たなチャレンジ支援事業」の積極的な活用について呼びかけさせていただきました。どうか、飲食店の皆さまの積極的なご利用をお願いいたします。

会食される場合もマスク会食など、会食をする側のルールがあります。サービスを提供される側のルールもあります。お互いがお互いを守っていくためにルールを守り、感染予防対策に一層のご協力をお願いいたします。

《市管理施設やイベントの取り扱いについて》

今回、県の警戒レベルが感染対策期に移行したということで、県管理施設の利用制限や県主催イベントの開催方法の見直しも進められております。今後、詳細が決まり次第、公表されるものと思いますが、本市においても、市の管理施設については、今治市民の方々の利用に限定させていただき、市民限定の利用ができない施設については閉館、閉鎖させていただきなどの措置を講ずる必要があると考えており、方針が決まり次第、市のホームページなどでお知らせする予定にしています。プールやキャンプ場が該当すると考えております。まずは、市民の皆さまの命を守ることを最優先に考えさせていただきたいと思っております。

また、イベントなどの開催、延期、中止につきましては、県の対応方針も参考にしながら、適宜、市民の皆さまにお知らせさせていただきますので、ご理解のほどよろしく申し上げます。

《ワクチン接種の対象年齢の拡大について》

そのような状況の中で、私ども今治市が市民の皆さまの命を守るために何ができるのかということをご日夜考えております。

ワクチン接種の対象年齢を拡大したい、これもずっと検討を進めてきました。

今治市におきましては、8月11日現在、既に高齢者を含む12歳以上の方の47.9%(69,339人)方が1回目の接種を終えられ、また、2回目の接種につきましても40.0%(57,960人)、10人に4人の方が接種を終えられています。

これまで、64歳から50歳までの方の接種予約を受付していますが、何としても対象年齢を下げるできないかと議論をしてきました。年代ごとにおいて予約率が異なります。60歳以上の方は既に約75%の方が予約しています。しかし、50歳以上の方は、まだ40数%です。こういった予約状況と、過日、県から示された第13、14、15クール、ワクチンの配分などを勘案させていただき、加えて、接種をお願いしている今治市医師会の全面的なご協力のもと、新たに18歳(今年度中に18歳になる方を含む)以上の方々まで接種対象を拡大させていただくこととしました。対象人員は約40,000人です。

今後のスケジュールとしましては、8月23日(月)に接種券を発送、8月30日(月)午前9時から予約受付開始、9月12日(日)から接種開始ができるよう、現在準備を進めております。ご予約はこれまでと同様のコールセンターやWebのほか、一部の医療機関では窓口や電話での受付もできますので、詳しくはホームページでご確認をお願いします。

県内の感染状況も悪化に悪化を繰り返しております。希望される方は、ぜひご予約いただいて接種をしていただければと思います。

なお、今回は18歳までとさせていただきます。17歳以下の方につきましても、ワクチン供給の見通しが立ち次第、速やかにお知らせさせていただきますので、もうしばらくお待ちいただきますようお願いいたします。

《大雨に対する注意喚起》

さて、先週には台風9号の襲来がありました。倒木や屋根が飛んだなどの被害がありました。現在も注意報が発令されており、来週にかけて前線

が停滞し、暫く雨が続くことが予想されています。いつどこで大雨となるか分かりません。大雨や土砂災害などの情報についても、今治市や気象庁などから様々な情報が発信されます。ホームページや SNS、テレビやラジオなど、情報収集の手段を複数確保し、積極的に情報を集めていただき、災害に対し万全の備えをしていただきますよう市長としてお願いします。

冒頭お話ししましたようにパラリンピックが8月24日から始まります。

8月8日にはオリンピックが閉幕し、日本は過去最多のメダルを獲得したほか、県人の活躍も目覚ましいものがありました。ゴルフ松山英樹選手のプレーオフでのメダル争い、陸上女子3000m障害で山中柚乃選手がオリンピックでの日本人最高記録を更新したほか、女子バスケットでは宮崎早織選手が日本バスケット史上初の銀メダルを取るなど、県人の活躍は県内の皆さまに対して感動と勇気を与えてくれました。

いよいよ24日からパラリンピックが始まります。今治市出身の競泳、山口尚秀選手、アーチェリーの永野美穂選手の活躍が期待されます。市民の皆さまも選手たちに精一杯エールを送っていただきますとともに、選手の皆さまの頑張りに負けないよう、ここは ”オールいまばり” でコロナ対策にも取り組んでいただきますようお願いします。